

教育推進部教育指導課

令和5年度学校評価の報告について

- 学校評価は、「学校運営の改善を目指し、教育水準の向上を図る」ことを目的とし、各学校園が、自校(園)の教育活動その他の学校運営の状況について、以下のとおり評価を行い、その結果に基づき必要な措置を講ずることが、平成19年改正された学校教育法、同法施行規則に示されている。
 - ①教職員による自己評価を行い、その結果を公表すること
 - ②学校の自己評価について保護者などの学校の関係者による評価（「学校関係者評価」）を行うとともにその結果を公表するよう努めること
 - ③自己評価の結果・学校関係者評価の結果を設置者に報告すること

- 文京区教育委員会では、法改正に基づき平成20年度より学校評価を実施している。平成21年4月に「文京区立学校関係者評価委員会設置要綱」を定め、「学校関係者評価委員会」を組織して、学校関係者評価を実施することとした。平成22年度には、各学校からの学校評価報告とともに、区全体の状況を把握するための参考として、学校関係者評価に区共通項目を策定した。

- ここに、令和5年度学校評価の集計結果を示すとともに、学校支援の具体的な手立てを講じて、教育施策の実行状況や進展状況を把握する資料とする。

別紙1 令和5年度学校関係者評価共通項目（集計結果）

(園)

幼稚園		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.95	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.89	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	10	0	0	0	3.87	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	10	0	0	0	3.88	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	10	0	0	0	3.89	A

(校)

小学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	20	0	0	0	3.87	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	20	0	0	0	3.80	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	20	0	0	0	3.75	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	20	0	0	0	3.71	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	19	1	0	0	3.79	A

(校)

中学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.87	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.85	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	10	0	0	0	3.74	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	10	0	0	0	3.69	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	9	1	0	0	3.80	A

※各関係者評価委員が4段階で評価した学校(園)の平均値を下記の基準をもとにABCDの4段階で評定したもの。
 (A: 4~3.4以上、B: 3.4未満~2.6以上、C: 2.6未満~1.8以上、D: 1.8未満)

別紙2 令和5年度 保護者アンケート(区共通項目)集計結果

質問項目	幼稚園				
	とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
1 本校(園)の教育活動に満足している。	72.3%	25.5%	1.9%	0.3%	0.0%
2 本校(園)の子どもたちは、学校での生活が楽しいと感じている。	76.1%	23.4%	0.2%	0.0%	0.3%
3 本校(園)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	73.7%	23.9%	1.4%	0.2%	0.8%
4 本校(園)は、特色ある校(園)づくりに積極的に取り組んでいる。	72.2%	24.5%	1.9%	0.3%	0.9%
5 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】					
本園は、一人一人の幼児理解に努め、適切な保育に努めている。【幼稚園】	72.6%	25.0%	1.6%	0.2%	0.5%
6 本校は、日頃よりいじめの未然防止に適切に取り組むとともに、学校生活で起きたいじめ等の問題(本園は、園の生活で起きた子ども同士のトラブル)に対して、素早く丁寧に対応している。	64.7%	27.3%	2.8%	0.2%	5.0%
7 本校(園)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	67.8%	29.4%	1.3%	0.3%	1.2%
8 本校(園)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	65.5%	29.2%	3.3%	0.0%	2.0%
9 本校(園)は、区や学校の方針等に対する保護者の意見をよく聞き、保護者と協力して教育を進めようとしている。	59.6%	31.2%	3.6%	0.2%	5.4%
10 来校時や電話での本校(園)の教職員のあいさつや対応は、適切である。	83.1%	16.1%	0.6%	0.0%	0.2%

小学校				
とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
41.0%	53.9%	4.0%	0.9%	2.9%
44.5%	48.1%	4.8%	1.2%	2.2%
38.8%	50.2%	4.6%	1.1%	6.0%
41.1%	47.0%	4.9%	1.1%	6.7%
39.3%	51.4%	3.1%	0.8%	6.0%
27.8%	35.2%	5.2%	1.4%	29.9%
42.0%	48.5%	2.8%	0.7%	6.9%
40.2%	50.2%	5.0%	1.1%	4.3%
34.7%	47.5%	4.6%	1.0%	13.1%
65.6%	31.7%	1.8%	0.4%	1.4%

中学校				
とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)
32.9%	55.9%	6.9%	1.1%	3.1%
35.3%	51.9%	6.7%	0.8%	5.2%
33.2%	50.5%	7.0%	1.7%	7.6%
26.3%	47.7%	12.1%	1.2%	12.0%
20.2%	50.9%	13.3%	1.8%	13.8%
24.9%	33.7%	6.4%	1.1%	33.7%
33.8%	48.9%	3.6%	0.6%	13.0%
37.1%	46.6%	8.9%	1.2%	6.2%
32.2%	45.4%	7.6%	1.5%	13.3%
64.0%	31.6%	2.8%	0.4%	1.2%

※ 数値は、各学校の平均値

幼稚園	家庭と地域	<ul style="list-style-type: none"> 「本園は保護者の意見をよく聞き、保護者と協力して教育を進めようとしている」の項目の「そう思う」の人数が比較的少なかったため、来年は園と家庭とのコミュニケーションの取り方をさらに工夫したいということであった。具体的な方策を考え始めているのがよい。互いの考えを知り、共に教育を進めていけるように頑張してほしい。 保護者アンケートの自由意見から、園庭がないハンディキャップがあるが、その分、手触りを感じられる保育をしていると思う。これからも直接体験を大切にしてほしいと思う。小学校にあがると、タブレットで漢字の書き取りをするようになるが、初めてだと書きづらい。紙の手触りを感じたり、体を動かして汗をかくなどの活動を進めてほしい。
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園は遊具が多いため大変だと思うが、園全体で安全に気を気を付け、ていねいに環境を整えている。 園舎と隣家が近いので、通路が狭く、避難路が心配という意見があった。非常時は土足で遊戯室を通して避難する訓練をしているということなので、安全に避難できるように日頃から工夫してほしい。
	教職員連携	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、友達に親しみをもち一緒に遊ぶことを楽しむことができているのは、先生方が適切に対応してくれているからだと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> 小中連携を含めたチームワークを意識し、異学年交流や体験を計画的に取り入れている。環境整備により使いやすさが向上し、教員の支援に工夫が加えられるようになった。 保護者評価は高い評価が多かったが、教員の評価は厳しく振り返っているように感じた。教員が自らしっかりと評価反省することはよいことであると思う。
小学校	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 5,6年生において、教科担任制を導入し、授業の品質向上、教職員の負荷低減に尽力されていることは、非常に高く評価しています。学年の教職員の体制を決める際に苦労があったと推測しましたが、引き続きこれが実現できることを期待しています。 児童アンケートの結果において、9割を超える児童がタブレットを使用した授業がわかりやすいと回答しており、授業のユニバーサルデザイン化、ICT機器の活用が、子どもたちの「わかる」「できる」楽しさにつながったものと思われる。
	豊かな心・人間性・感性の育成	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が共通理解のもと、児童の多様性を認めながら、障害の有無にかかわらず、すべての児童がともに学ぶことができています。 「学校生活で起きた問題（いじめ等）に対して、素早く対応していると思えますか」の項目（保護者）で、41.2%が「よくわからない」と回答している。教職員は日々誠実に指導に励んでいるので、学校便り、HP等で丁寧な広報活動を続けてほしい。 「学校生活で起きた問題（いじめ等）に対して素早く適切に対応している」の項目は、4.9%増加している。教職員が、子供にとっては切実な問題であることを認識し、情操教育の改善等に取り組んできた。今後も子供に寄り添った丁寧な指導に取り組んでほしい。
	家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きコミュニティスクールの推進が図られており、幼保小及び小中の連携も定着が図られている。また、防災宿泊実施時の消防団の実演なども本項目の達成に寄与している。 児童に必要な支援について、保護者との合意形成が上手く進んでいるように見受けられる。関係機関と連携し、効果的な支援を続けて欲しい。
	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ICT環境が充実化してきていることとあいまって、教職員自身の努力の成果がその利用法、利用結果として生徒たちの学力向上に成果を上げている。 「よく分かる授業」の実践を目指しているが、少人数指導の効果に対する生徒からの評価が今一步である点が気になる。原因を分析して欲しい。
中学校	信頼される学校	<ul style="list-style-type: none"> 地元町会、青少年委員会や青少年健全育成会の行事に積極的に参加する等しており、これら行事への参加について先生方もよく吟味して取り組み、生徒たちへのフォローをしてきていて、地域との信頼関係はできているといえよう。 特別支援コーディネーターを中心に教育環境の充実が図れている。年々支援を必要とする生徒が増えている傾向にあるので、限られた人材の中で効率的な取組みを続け、改善できる部分は改善していく。 「いじめ問題の対応」について、わからないという回答が多いのは、事案がない事で、問題として上がってこない為であり、マイナスに捉えることはない
	豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自主性を重んじると生徒たちが自分で考える。部活の発表会では、生徒の発案で観客を盛り上げるなど、生徒の一体感が感じられた。生徒会も活発で、あいさつ運動や落ち葉掃きなどボランティア活動にも精力的である。 人の多様性を認識できる環境がほぼできており、生徒自身が多様性について理解を深めている。小学校との交流を通じてお手本となるべき行動がとれるようになってきている。 豊かな感性の育成を目指し、特色のある計画的な教育活動が行われています。伝統的な弁論大会や美術館鑑賞教室（全学年）などにより豊かな感性や情操を育てています。読書活動にも力を入れ、本の貸し出し数が増加しております。学校評価でも9割近い保護者や生徒が「学校生活が楽しい」と肯定的な回答が得られています。
	人間性・感性	